

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

評価 責任 者	所属	観光交流文化局 まちは劇場推進課
	氏名	参与兼課長 鈴木 高美

政策	4 まちなかの魅力向上により賑わい創出を推進します
----	---------------------------

施策	1 まちなかの賑わいを生み出すイベントの推進
----	------------------------

施策の 目的	静岡まつり、安倍川花火大会、清水みなと祭り、大道芸ワールドカップを主としたイベントのほか、商店街等の団体が創意工夫し、中心市街地を主として各種のイベントを開催することで、まちなかの魅力を向上させ、賑わいの創出を推進することで交流人口の増加を図ります。
-----------	---

(1) 総合評価

総合 評価	令和元 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	令和元年度は成果指標に含まれるイベントの内、「安倍川花火大会」が台風接近のため、また「静岡おでん祭」が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、結果として目標値を下回ることとなった。しかし、それ以外のイベントについては例年並み又はそれ以上の入込客数を得ており、中心市街地の主要イベント全体として捉えれば、まちなかの賑わいを生み出すという目的を十分に果たしていることから、総合評価としては「A」とした。
	令和2 年度	—	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのイベントを実施することができず、設定している指標（中心市街地主要イベント延開催数・中心市街地主要イベント延集客数）について測定することができなかったため、評価することができない。
	令和3 年度	—	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのイベントを実施することができず、設定している指標（中心市街地主要イベント延開催数・中心市街地主要イベント延集客数）について測定することができなかったため、評価することができない。
	令和4 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも対策を十分に行い、多くのイベントを再開することができた。新型コロナウイルス感染症が完全に収束せず、多くのイベントが縮小開催となり、来場者数は目標値を下回ることとなったが、コロナ禍で開催することができなかったイベントを復活させ、目標値と同等数のイベントを開催することができたため評価をAとする。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。
※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果 指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠	
	中心市街地主要イベント延開催数 （大道芸ワールドカップin静岡、シズオカ×カ ンヌウィーク等） （回／年）	56	1	17	15	88.0%	b		平成27年度から30年度の中心市街地における主要イベント開催数を基準とし、新規イベントの創出を見込み算出した。
2			17	5	—	—			
3			15	8	—	—			
4			16	16	100.0%	a			
中心市街地主要イベント延集客数 （大道芸ワールドカップin静岡、シズオカ×カ ンヌウィーク等） （千人／年）		19,500	1	5,155	4,737	91%	b	平成27年度から30年度の中心市街地における主要イベント入込客数の平均値を基準とし、周年イベントや開催日増による入込客数の増を見込んで算出した。	
			2	5,145	32	—	—		
			3	5,315	567	—	—		
			4	5,135	2,876	56%	—		
指標 成果 以外の		1							
		2							
		3							
		4							

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
駿府城夏祭り開催事業補助金	夏のシンボルイベントとして、静岡都心における参加型イベントを開催	2	1	15,000	0	15,000	0.5	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	55,000	0	55,000	0.5	0.0	0.0	
賑わい創出イベントの推進	静岡まつり（4月）、サンバカーニバル（5月）、ジマ×カヌイク（5月）、SHIZUOKA PICNIC GARDEN（5.9月）、安倍川花火大会（7月）、応援団フェスティバル（8月）、清水みなと祭り（8月）、大道芸ワールドカップ in静岡（11月）、富士山コスプレ世界大会（11月）、静岡おでん祭（3月）の開催	1	1	326,673	0	241,932	7.0	0.0	0.0	○
			2	146,424	0	67,822	7.0	0.0	0.0	
			3	265,285	0	130,914	5.1	1.0	0.0	
			4	425,773	0	367,198	5.9	0.8	0.0	
ストレンジシード開催事業	駿府城公園及び周辺市街地を舞台とした演劇・ダンスイベント「ストレンジシード」の開催（5月）	3	1	27,000	0	27,000	0.4	0.0	0.0	○
			2	27,720	0	27,500	0.4	0.0	0.0	
			3	24,000	0	23,890	0.4	0.0	0.0	
			4	24,000	0	23,980	0.4	0.0	0.0	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

本施策は、後期実施計画において、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの多くが中止・縮小となったが、最終年には感染症対策を行いながらイベントを開催し、期待通りの成果を上げることができた。今後は、各実行委員会の安定的運営に向けた組織体制づくり・資金調達など、各実行委員会が自律的に課題解決できるよう支援する。

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

評価責任者	所属	経済局 商工部 商業労政課
	氏名	課長 平尾 隆司

政策	4 まちなかの魅力向上により賑わい創出を推進します
----	---------------------------

施策	2 まちづくり人材、組織の活動支援
----	-------------------

施策の目的
 まちなかの魅力向上や賑わい創出を図るには、多様な主体がそれぞれの強みを生かして自立的に事業を実施していくことが有効です。これまでの主な担い手であった商店街に加え、有志の商業者グループやまちづくり団体など、まちづくりの新たな担い手となる人材・組織の活動支援を行い、魅力あふれるまちの創出を目指します。

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	主要事業を計画通りに実施し、成果指標の目標値を達成したため。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、成果指標の目標値を達成できなかったが、主要事業は概ね計画通りに実施できたため。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	主要事業を計画通りに実施し、成果指標の目標値を達成したため。
	令和4年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	主要事業を計画通りに実施し、成果指標の目標値を達成したため。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。 A：施策の目的が達成されている。 B：施策の目的があまり達成されていない。 C：施策の目的が達成されていない。 -：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
	市支援策を受けたまちづくり組織の活動数	7件 (H30実績値)	1	7件	7件	100.0%	a	直近3か年の実績値（H29：5件、H30：7件、R01：7件） 【年間目標値】 ～R02：商業活性化グループ事業補助金を活用したまちづくり組織の活動が毎年度7件（最大実施可能件数8件の8割程度）実施されることを目指す。 R03：商業活性化グループ事業補助金の予算増加により、8件（最大実施可能件数10件の8割程度）実施されることを目指す。 R4：商業活性化グループ事業補助金を活用したまちづくり組織の活動が6件実施されることを目指す。（予算額と補助金上限額を基に設定）
2			7件	6件	86%	b		
3			8件	8件	100.0%	a		
4			6件	6件	100.0%	a		
			1					
			2					
			3					
			4					
指標以外			1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
I Loveしずおか協議会との連携	①I Loveしずおか協議会の各部会への参画 ②I Loveしずおか協議会主催イベントへの参加	1	1	0	0	0	0.7	0.0	0.0	○
			2	0	0	0	0.7	0.0	0.0	
			3	0	0	0	0.7	0.0	0.0	
			4	0	0	0	0.7	0.0	0.0	
新たな商業グループの活動への助成	①商業活性化グループ事業への助成	2	1	4,000	0	2,866	0.4	0.0	0.0	○
			2	4,000	0	2,603	0.4	0.0	0.0	
			3	4,000	0	3,099	0.4	0.0	0.0	
			4	3,000	0	2,728	0.4	0.0	0.0	
商店街への助言サポートの推進	①商店街団体へのアドバイザーの派遣 ②商店街団体との意見交換会での講演会の実施	3	1	200	0	0	0.1	0.0	0.0	○
			2	200	0	0	0.1	0.0	0.0	
			3	300	0	100	0.1	0.0	0.0	
			4	300	0	0	0.1	0.0	0.0	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、－：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後の取組や方向性

I Love しずおか協議会との連携では、包括連携協定を締結するなど、相互の連携体制の強化を図ることができた。
 新たな商業グループの活動助成では、コロナ禍において一時的に件数が目標値を下回ったものの、その後は活動も回復傾向にあり、計画通りの件数の支援をすることができた。
 商店街への助言サポートでは、アドバイザー派遣事業としては令和3年度に1件実施したほか、令和4年度は国の専門家派遣ワークショップ事業に採択され、まちづくりの専門家を招きながら商店街のあり方検討などを実施することができた。
 その結果、商店街の活性化を図ろうとするまちづくり団体の新たな動きも芽生え、今後の商店街活性化に向けた機運の醸成を図ることができた。
 引き続き、まちづくりの新たな担い手となる組織や有志の商業者グループ等の活動を支援し、魅力あるまちの創出を目指していく。

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

政策	4 まちなかの魅力向上により賑わい創出を推進します
----	---------------------------

施策	3 清水港ウォーターフロントの賑わいづくり
----	-----------------------

施策の目的
清水港周辺地区の魅力を高め、ウォーターフロントから地域経済の活性化が進む港町・清水の賑わい創出を図るためには、海洋文化拠点構想をはじめ、清水港を基軸に取り組む賑わい創出に向けた関連事業を有機的に結び付けていく必要があります。特に平成27年度に設置された「清水都心ウォーターフロント地区開発推進会議」では、魅力ある港にするための開発基本方針の策定や国際クルーズ旅客受入機能高度化施設整備事業の推進などによるみなとまちづくりが官民連携で進められています。こうした清水港ウォーターフロントの賑わいづくりに向けた関連事業を局間連携により推進します。

評価責任者	所属	経済局 海洋文化都市推進部 海洋文化都市政策課
	氏名	課長 谷川原 賢一

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	主要事業のうち清水港開港120周年記念事業、清水港客船誘致事業については、成果指標の達成評価はSであるが、海洋文化施設整備事業について、成果指標がAであるため。
	令和2年度	B：施策の目的があまり達成されていない。	理由	新型コロナウイルスの影響により客船等寄港数や清水中心市街地の歩行量が未達成だったが、施策を構成する主要事業において、3分の2以上が目標を達成できており、清水港ウォーターフロントの賑わいづくりを推進しているため。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響により清水中心市街地の歩行者量については未達成であったが、他の指標については目標を達成できていること、コロナ回復後を見据えた港湾整備などは着実に進められており、清水港ウォーターフロントの賑わいづくりの推進が図られているため。
	令和4年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響により清水中心市街地の歩行者量については未達成であったが回復傾向にある。他の指標については目標を達成できていること、また、港湾整備などは災害（台風15号）の影響を受けた事業も一部あるが着実に進められており、清水港ウォーターフロントの賑わいづくりの推進が図られているため。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。 A：施策の目的が達成されている。 B：施策の目的があまり達成されていない。 C：施策の目的が達成されていない。 -：評価できない。
※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
成果指標	海洋文化施設建設事業の進捗	-	1	20%	15%	75.0%	a	事業の一時停止により、事業スケジュールを「R元～R5」までを「R元～R7」までへ延長した。 R2～R7までの事業進捗状況を各年度13.3%ずつ（計80%）進捗するものとし、目標値として設定した。 ※R元目標値：20%
			2	33%	33%	100%	b	
			3	47%	47%	100%	a	
			4	60%	60%	100%	a	
	「開港祭」の来場者数	-	1	100,000人	105,518人	105.5%	s	開港100周年実績＝140万人 今回の予算規模×1/2＝70万人 うち清水みなと祭りが60万人 残り10万人を120周年目標値として設定した。
			2	-	-	-	-	
			3	-	-	-	-	
			4	-	-	-	-	
	客船等寄港数	40隻 (R元年度)	1	22	40	181.8%	s	令和4年度は、コロナ禍による政府の入国制限等に左右され外国船寄港の見通しが立たないため、邦船の寄港数としてはここ20年で最高であった、令和3年度の実績値を目標として設定した。 ※令和3年度については、緊急事態宣言が続いたため、昨年度の目標値と同数とした。 【外的要因】新型コロナウイルス感染症の動向に左右される。
			2	11	7	63.6%	d	
			3	11	12	109.0%	a	
			4	12	18	150.0%	s	
	清水の中心市街地の歩行者通行量	25,670人 (平成28年度)	1	25,670人	34,094	106.7%	s	平成28年度調査※における清水の中心市街地の歩行者通行量（25,670人）を現状維持とし目標を設定。 ※静岡市中心市街地活性化検討協議会（事務局：静岡市商工会議所 清水事務所）実施調査「歩行者交通量・まちなかアンケート」報告書
			2	25,670人	14,935	58.2%	d	
			3	25,670人	15,108	58.9%	d	
			4	25,670人	16,740	65.2%	d	
指標以外	・清水港開港120周年事業では、上記の開港祭以外にも、①120周年記念式典（令和元年8月4日）、②海フェスタしずおか（令和元年7月13日～8月4日）、③折戸湾環境創造プロジェクト（平成31年4月20・21日、令和元年8月24日、9月28・29日）、④120周年記念シンポジウム（令和2年2月1日）、⑤クリーンアップ作戦@三保内浜（令和2年2月22日）等の主催事業及び連携事業を実施した結果、来場者及び参加者数は合計1,565,864人となり、市民をはじめとする多くの方々に対して、清水港の魅力情報を発信し、そして清水港長期構想等の発信を通じて、20年後の目指す姿を共有し、次世代に向けた第一歩を踏み出した。							

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
海洋文化施設整備事業	令和4年5月に入札公告を行い、計画どおりSPCと令和23年3月31日までの事業契約を締結した。	1	1	1,413,930	—	1,007,053	3.0	0.0	0.0	○
			2	4,881	304,751	307,859	3.0	—	0.0	
			3	3,449	0	3,043	3.0	—	0.0	
			4	18,518	0	18,472	3.5	—	0.0	
清水港開港120周年記念事業	清水港開港120周年記念式典、シンポジウム、企画展等の開催	1	1	45,000	0	45,000	2.0	0.0	0.5	—
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
清水港海づり公園整備事業	清水港海づり公園の整備 R1年度 棧橋基礎工（鋼管杭打設） R2年度 棧橋基礎工（鋼管杭打設、杭切断等） R3年度 棧橋基礎工（杭切断等）、修正設計 R4年度 棧橋上部工 R5年度 棧橋上部工	2	1	402,000	0	160,200	1.2	0.0	0.0	○
			2	94,000	241,800	241,800	1.2	0.0	0.0	
			3	8,300	94,000	96,420	1.2	0.0	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
みなとオアシス運営事業	情報発信拠点の管理、オアシスイベント等の実施	3	1	5,593	0	5,369	0.3	0.0	0.0	○
			2	4,177	0	4,038	0.3	0.0	—	
			3	2,439	0	2,344	0.3	0.0	—	
			4	2,439	0	2,264	0.3	0.0	—	
清水港客船誘致の推進	客船・帆船の誘致活動、寄港時における歓迎イベントの開催	2	1	56,385	0	56,385	1.5	0.5	0.5	○
			2	45,340	0	15,871	1.0	—	1.0	
			3	24,000	0	19,500	1.0	—	1.0	
			4	20,476	0	20,476	1.0	—	1.0	
駿河湾フェリー運航支援事業	駿河湾フェリーの運航及び環駿河湾観光交流活性化協議会に係る経費の負担並びに利用促進事業	3	1	25,800	0	21,978	1.4	0.0	0.0	○
			2	28,800	0	26,874	1.4	0.0	—	
			3	42,600	0	42,600	1.4	0.0	—	
			4	47,000	0	42,600	1.4	0.0	—	
清水港・みなと色彩計画の推進	①清水港・みなと色彩計画推進協議会（事務局は海洋文化都市推進本部）への負担金の交付 ②清水港・みなと色彩計画推進協議会による各事業の実施（色彩協議、協議会・アドバイザー会議・色彩セミナーの開催、色彩計画PR活動等）	3	1	1,056	0	1,056	2.0	0.0	0.0	○
			2	1,056	0	1,056	2.0	0.0	—	
			3	2,258	0	2,238	2.0	0.0	—	
			4	1,056	0	1,056	2.0	0.0	—	
清水都心ウォーターフロント活性化推進事業（フリトラ市の開催）	①清水フリトラ市の開催（毎月第2日曜日） ②清水港線遊歩道の賑わい創出に向けたPR活動（広報）の実施（R2年度まで※R3年度からは民間団体で実施）	5	1	2,200	0	2,200	0.3	0.0	0.0	—
			2	2,090	0	1,742	0.3	—	0.0	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
清水都心ウォーターフロント活性化推進事業（清水港線跡遊歩道整備）	①島崎町交差点整備に向けた地元住民及び道路管理者、交通管理者との協議実施（R1年度） ②江尻側エントランス広場整備のための用地取得（R3年度） ③エントランス広場及び交差点整備の実施設計（R3年度） ④エントランス広場及び交差点の整備（R3年度）	2	1	0	0	0	2.0	0.0	0.0	△
			2	105,350	0	44	2.0	0.0	0.0	
			3	0	105,306	55,178	2.0	0.0	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
清水都心ウォーターフロント活性化推進事業（WF地区デザイン提案検討）	①地区としての一体的な方向性を持った都市デザインの提案・検討（R3年度まで※R4年度からは県主体で実施）	2	1	5,000	0	4,829	0.6	0.0	0.0	○
			2	5,000	0	4,829	0.6	0.0	0.0	
			3	5,000	0	4,829	0.6	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
清水都心ウォーターフロント活性化推進事業（光の景観まちづくり）	①ライトアップ・イルミネーション事業の実施（R1.2年度） ②夜景フォトコンテストの開催（R1年度）	4	1	25,222	0	21,283	1.5	0.0	0.0	—
			2	9,100	0	7,480	1.5	0.0	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

【海洋文化施設整備事業】第4次総合計画の重点政策「港町の海洋文化を磨き上げるまちの推進」の主要事業として位置付けられており、引き続き着実に事業を実施していく。

【清水港海釣り公園整備事業】早期着工及び継続的な予算確保を図り、令和5年度棧橋部分の完成を目指す。

【みなとオアシス運営事業】構成施設であるJR清水駅東口公園と河岸の市を連動させたイベントの実施や、みなとオアシスに関する情報発信により、清水港周辺の回遊性を高めていく。

【清水港客船誘致の推進】誘致活動を引き続き実施すると共に、乗船客の市内周遊対策に努める。また、岸壁への集客を図るため積極的な情報発信を行い、岸壁でのイベントを充実させるなど、地域の活性化に向け取り組んでいく。

【駿河湾フェリー運航支援事業】運航事業者が策定した「駿河湾フェリー経営改善戦略」に基づき、県及び環駿河湾地域3市3町と協議しながら、輸送人員の確保のための施策や船舶の維持管理費や動力費の負担など支援を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、経営改善戦略の目標値を1年遅れで達成している状況である。フェリーの安定的な運航に向けて、今後も県及び環駿河湾地域3市3町との協議を継続し、フェリーの運航支援、利用促進及び環駿河湾地域への誘客に向けて引き続き取り組んでいく。

【清水港・みなと色彩計画】計画の取組成果である「美しいみなとまちづくり」を国内外に向けてPRしていくため、今後、大幅に寄港の増加が予定される大型客船の乗船者に対するPRなど、幅広い活動に取り組んでいく。

【清水港線跡遊歩道整備】令和5年度江尻エントランス広場の完成を目指す。